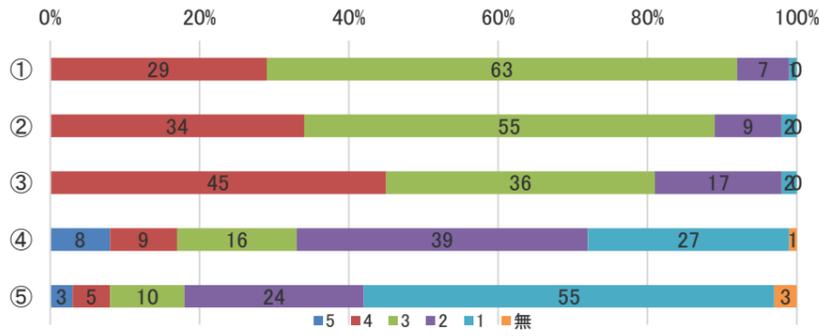
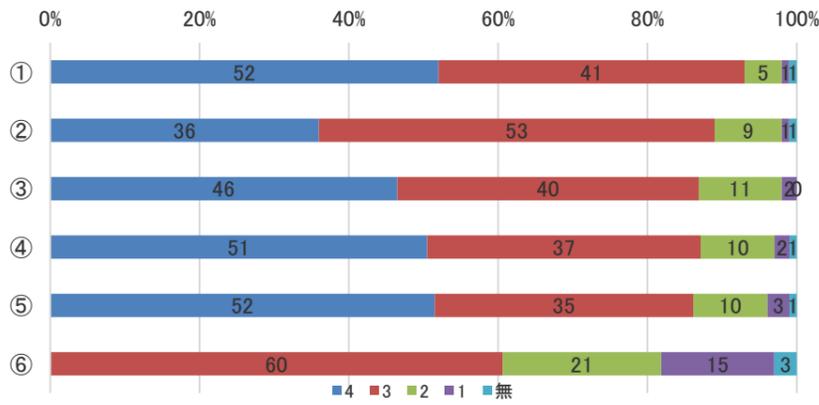


<4=とても思う 3=思う 2=あまり思わない 1=思わない>

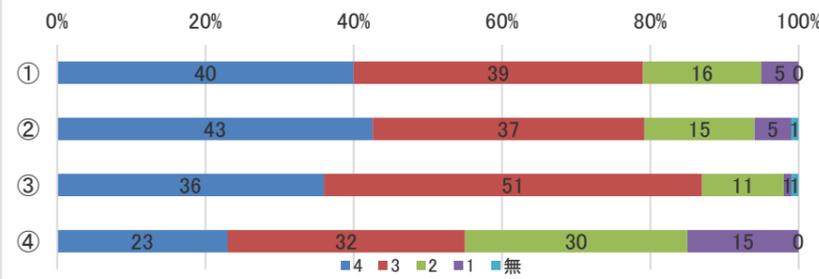
確かな学力(児童)



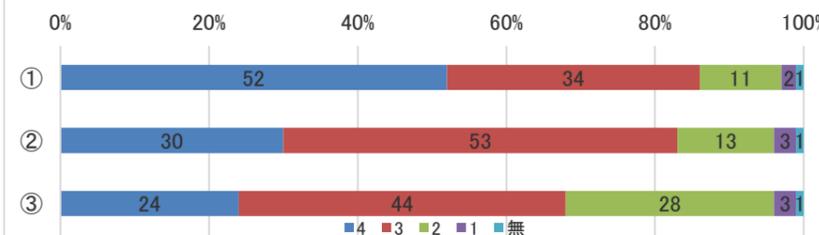
豊かな心(児童)



輝く未来(児童)



たくましい体(児童)



令和2年度 昭島市立学校 アンケート 集計結果 ＜児童と保護者の比較＞

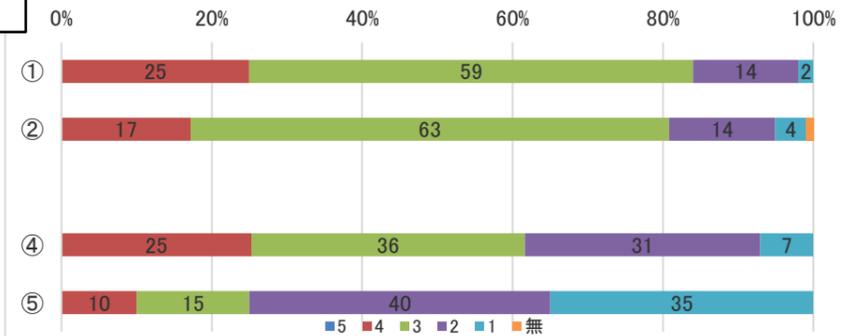
- ①授業はわかりやすい(学力を身に付けさせている)
※()は保護者への設問
- ②意欲的に学習している(授業を工夫している)
- ③授業中、話し合う時間や発表する時に進んで参加している。
- ④家庭学習の習慣が身に付いている
- ⑤読書時間 <5=4時間以上 4=4時間未満 3=3時間未満 2=2時間未満 1=1時間未満 >
(毎日読書していると思いますか)

- ①自分や友達を大切にしている(心を育てている)
- ②思いやりの心をもって行動している
- ③男女の性別に関係なく接している
- ④学校で安心して過ごしている(心の居場所作りに努めている)
- ⑤楽しく学校生活を過ごしている
- ⑥困った時に相談できる大人がいる<3=2人以上 2=1人 1=0人 >

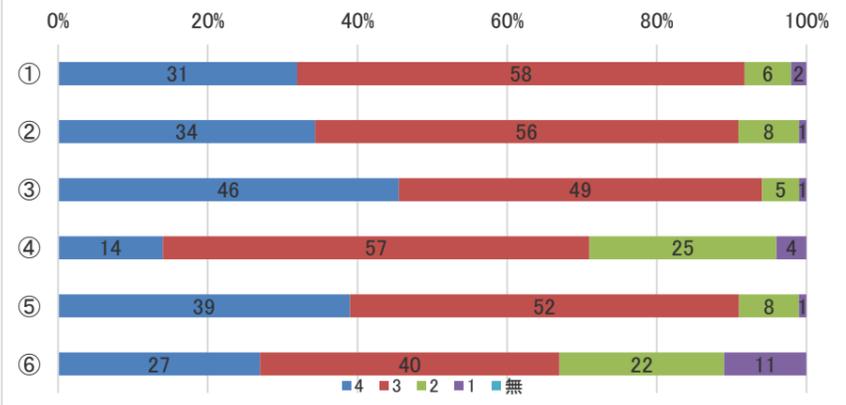
- ①自分の得意なこと、向いていることについて考えることがある。
(学校は将来の生き方や夢について考える機会を提供している)
- ②自分の将来について考えることがある。
(学校から提供される進路に関する資料等は役に立つ)
- ③生活を振り返り、よくよくしようと思う
(お子様は自分の将来や進路について考えている)

- ①学校で遊んだり体を動かしたりしている
(学校の体力向上について満足している)
- ②学校で学んだ安全や健康の知識を生活の中で生かしている
- ③学校で学んだ食事や栄養の知識を生活の中で生かしている

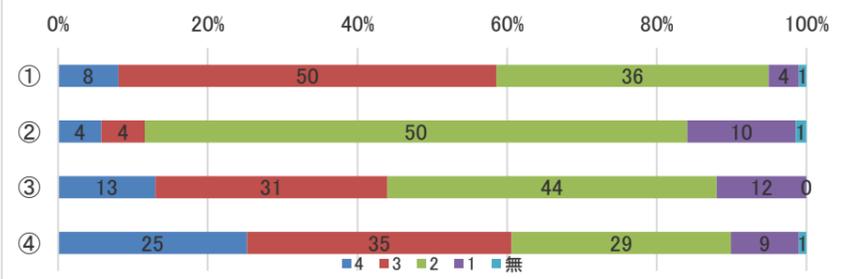
確かな学力(保護者)



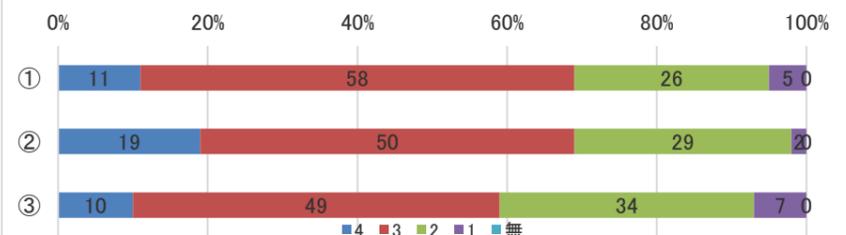
豊かな心(保護者)



輝く未来(保護者)



たくましい体(保護者)



<考察>
①②授業について、児童保護者共に肯定的な意見が多いが、否定的な意見の10%の児童のために改善が必要である。
③家庭学習の定着については、児童の72%は1時間以上の学習をしている反面、保護者の38%は定着していないと考えている。
④読書が1時間未満の児童が58%いて、毎日読書ができていないと捉えている保護者が75%いる。さらなる読書への啓発と取組が必要

<考察>
①②授業について、児童保護者共に肯定的な意見が多いが、否定的な意見の10%の児童のために改善が必要である。
③家庭学習の定着については、児童の72%は1時間以上の学習をしている反面、保護者の38%は定着していないと考えている。
④読書が1時間未満の児童が58%いて、毎日読書ができていないと捉えている保護者が75%いる。さらなる読書への啓発と取組が必要

<考察>
全般的に児童に比べ保護者の肯定的な意見が少ない。特に、②の進路に関する資料については、小学校において多くの資料が提示されるわけではなが、キャリアパスポートを活用しながら、進路について考える機会を増やしていく。
④将来についての話題は、概ね児童保護者共に同率になっている。

<考察>
全般的に児童に比べ保護者の肯定的な意見が少ない。特に、②の進路に関する資料については、小学校において多くの資料が提示されるわけではなが、キャリアパスポートを活用しながら、進路について考える機会を増やしていく。
④将来についての話題は、概ね児童保護者共に同率になっている。